

『平成30年7月豪雨』を振り返る -被災された方からのお便り-

平成30年7月豪雨で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

平成30年7月豪雨は、平成最悪の水害を西日本にもたらしました。広島、岡山、愛媛などの各県を中心に被害は広範囲に亘り、被害に遭われた多くの方々は1か月以上経った今も不自由な生活を余儀なくされております。

以下に、今回の豪雨災害で被災されたお客様のご家族様から貴重なお便りを頂きましたので、ご紹介させていただきます。皆様の今後のご参考として頂ければ幸いです。



【土砂で埋まったお車】



【植木も埋まる高さの土砂】

☆ ご家族様からのお便りのご紹介

ご家族様は中国地方在住で、今回の豪雨災害により自宅の家屋や自動車が被災されました。被災現場では、「周辺の多くの家が土砂に埋まり、多くの車が潰れていて、いつ元に戻るか見当もつかない状況」を目の当たりにされたそうです。

ご自宅も「泥水が浸水し、駐車していた自動車は土砂に埋まってしまい使用出来ず、途方に暮れてしまった」とお話をされていました。

今回の災害で、「最初は保険金が支払われるかどうか、心配だった」そうです。

御自宅は比較的高台にあり、また近くには河川があるわけではないので、当初火災保険は水災補償への加入をお考えではなかったようです。

しかし、水災は、「下水や河川の氾濫によって下から上がってくる水だけではなく、上から流出してくる土砂災害もある」と思い直され、水災補償にご加入頂いていました。この水災補償があったので、今回の被災についても補償の対象となりました。

「保険で補償されることを改めて確認し、とても安心した」とお話しされています。

また、土砂に埋まった自動車は数カ月前に購入されたばかりでした。保険加入の際に**車両保険の新価特約**(新車購入費用を保険金としてお支払いする特約)を勧められ契約しました。この特約で新車購入費用が支払われることを被災後に改めてお聞きになられ、「**気持ちが楽になった**」とお話しされ、被災時には、「**少しでもほっとできるようなことがあればそれが一番**」だとお話頂きました。

「**万一の時の保険と言われますが、これがあるかどうかで今後の人生が大きく左右されることになります。自宅も自動車もしっかりと保険に入っていたことで、少なくとも経済的なことは心配せずに次に進んで行かれます。**」と前を向いておられました。

また、「**災害はどこにでもあり得ます。これからの安定した生活を考えると保険は絶対大切**」というお言葉を頂きました。

未曾有の災害に遭遇された中で、保険が少しでもお役に立つ事ができたのではないかと思います。

【万一の災害にしっかりと備えましょう！】

水災(水害)リスクへの備えとしての損害保険は、

- ・豪雨による土砂崩れや鉄砲水での**住宅や家財の損害**をカバーする為には、火災保険等の水災(水害)補償をつけることが必要です。
- ・**自動車の水没等**をカバーする為には自動車保険の**車両補償**に加入することで金銭的負担をある程度軽減できます。

更に**新価特約**(初度登録から61ヵ月以内)なら、新車購入時の費用が補償の対象となります。

この機会にご契約の火災保険や自動車保険の内容をご確認されることをお勧め致します。

以上

お問合せ先 : 三菱商事インシュアランス株式会社
リスクコンサルティング室
所在地 : 東京都千代田区丸の内2丁目6番1号
丸の内パークビルディング 31階
電話 : 03-6269-3727